

『川越散策 & 湯游ランド懇親会』報告書

<東京支部・埼玉支部の共同開催>

東京支部（堺精一支部長）と埼玉支部（西郡貢支部長）は、10月20日(土曜日)にユネスコ無形文化遺産に登録された「川越氷川神社の山車行事（川越まつり）」に合わせて、「川越散策と湯游ランド懇親会」を合同で開催しました。

参加者16名（東京支部9名、埼玉支部7名）は昼過ぎに西武線本川越駅に集合し、地元在住である校友の町田さん（埼玉支部）に名所や川越祭りの見どころを説明していただいた後、小江戸川越の象徴である蔵造りの町並みや時計台を見ながら地元の名産品を味わったり、また各所で見られる精巧な人形を乗せた絢爛豪華な山車やお囃子・踊りを楽しみました。



川越の街とお祭りを十分に堪能した後、夕方には「川越温泉湯游ランド」という温泉施設でゆっくりと湯舟につかりリラックスして日ごろの疲れを癒したあと、懇親会で美味しい食事とお酒で両支部の校友が親交を深めました。



さらに懇親会後は施設内の演劇場で大衆演劇を楽しんだり、夜の川越祭り見学に繰り出しました。昼間は豪華絢爛な山車の見学でしたが、夜の山車は提灯に明かりが灯り、威勢のいい掛け声とともに町中を曳かれるという全く違う雰囲気の見学をすることができます。四つ角などでは何台もの山車が相対し、向かい合う山車がお囃子で競演し、曳き方衆が提灯を高々と振り上げ歓声を上げる「曳っかわせ (ひっかわせ)」は川越祭りの最大の見どころです。



- ① 「小江戸川越」のきれいな街並みを堪能し
 - ② 「温泉施設湯游ランド」で日ごろの疲れを癒し、おいしい料理とお酒で楽しく語り合って親交を深め
 - ③ 「川越祭り」という豪華で威勢のいいお祭りを味わう
- 一日でトリプル楽しい素晴らしいイベントとなりました。

関西大学校友会東京支部「川越散策 & 湯游ランド懇親会」

幹事：堺 精一（昭和 50 年工卒）

高能 彰（昭和 52 年社卒）